

休日当番医

市医師会の休日当番医がホームページで検索できます。アドレスは
<http://maebashi.gunma.med.or.jp/>、携帯電話の場合は<http://maebashi.gunma.med.or.jp/i/>です。

夜間急病診療所 朝日町四丁目9-5 243-5111

午後8時～午前0時 内科と小児科

救急病院等案内(消防本部内) 221-0099

	7月10日	7月17日	7月18日
内	瀬下こどもクリニック 元総社町(児) 255-3350	須田こどもクリニック 後閑町(児内) 265-6777	柳川小児科医院 天川大島町三丁目(児) 263-1600
	福山内科 東片貝町(内) 243-1380	春山医院 日吉町二丁目(内) 233-1551	河内循環器クリニック 昭和町三丁目(内外) 233-3311
科	すがの内科医院 総社町植野(内) 256-8121	塚田医院 南町三丁目(内) 221-3155	富沢内科小児科医院 石倉町二丁目(内児) 251-4779
	宮石内科医院 上細井町(内) 234-1876	老年病研究所ハビリ病院 元総社町二丁目(内) 253-2522	上泉内科 上泉町(内児) 269-1682
外	関医院 南町四丁目(整児) 224-6456	掛川医院 総社町二丁目(外内) 251-0415	アクザワ医院 天川大島町(外内児) 263-1228
	内田外科医院 西片貝町二丁目(外) 224-5061	群馬ベイクリニック病院 亀里町(整) 265-0999	二子山医院 朝倉町一丁目(内外脳外) 263-1331
婦人科	さとレディースクリニック 表町二丁目 224-7606	産科婦人科神岡医院 高崎市上小島町 027-362-4132	山王病院 山王町二丁目 266-5410
耳鼻科	田中耳鼻咽喉科医院 大手町二丁目 221-6431	宮下耳鼻咽喉科医院 高崎市井野町 027-361-7325	みうら耳鼻科医院 広瀬町三丁目 266-7023
眼科	とくい眼科 総社町総社 290-1091	高山眼科緑町医院 高崎市緑町一丁目 027-361-6888	山王病院 山王町二丁目 266-5410
勢多郡医師会	田所医院 二之宮町 268-2128	あべクリニック 富士見村 288-9511	吉田医院 鼻毛石町 283-3375
	星野医院 桐生市新里町山上 0277-74-8439	細野医院 桐生市新里町新川 0277-74-2300	吉松医院 粕川町新屋 285-2273
歯科	日曜・祝日は歯科医師会休日診療所 岩神町二丁目19-9 237-3685 ・午前10時～正午、午後1時～3時		

休日当番

薬局	日曜・祝日は市薬剤師会会営薬局 紅雲町一丁目2-15 223-8400 ・午前9時30分～午後6時		
接骨院	松井接骨院 北代田町 232-0238	湯沢接骨院 龍蔵寺町 232-4603	あさひな接骨院 関根町三丁目 260-1234
	笹沢接骨院 青梨子町 251-9595	大利根接骨院 下新田町 252-6701	橋本接骨院 粕川町膳 285-4874

中心商店街で、お肌の講演会
 を行います。
 日時〓7月24日 午後2時30分
 ～4時 会場〓国際交流広場千
 代田町二丁目) 対象〓一般、
 先着百人 テーマ・講師〓「紫
 外線による皮膚がん・皮膚の老
 化」群馬大附属病院皮膚科教
 授・石川治さん 申し込み〓当



皮膚がんや老化 防止のため

日会場へ直接 問い合わせ〓に
 ぎわい課 210 2188
健康テレホンサービス
 234 4970

健康テレホンサービスの原稿
 検索と健康相談がインターネット
 で利用できます。アドレスは
<http://www.rajin.com/kenko/>です。
 月曜〓中性脂肪が高い
 火曜〓コレステロールが高い
 水曜〓肥満の判定
 木曜〓肥満と肥満症
 金曜〓肥満症と食事療法
 土曜〓肥満症と運動療法
 直接相談タイム〓医師が直接相
 談7月7日(小児科と眼科)・
 15日(歯科)午後7時30分
 9時

「熱中症」にご用心を



熱中症は、高温の環境によ
 って体調を崩す病気の総称で
 す。急に気温が高くなる夏の
 初期になりやすく、次の三つ
 に大きく分けられます。
 熱けいれん 汗をかき、水分
 以上に体内の塩分を失うと、

筋肉が過敏になり、手足の筋肉
 などに痛みを伴うけいれんが起
 こります。涼しい場所で安静に
 し、スポーツドリンクなど、塩
 分を含む水分を補給しましょう。
 熱疲労 大量に汗をかき、脱水
 状態になります。症状は、めま
 い、頭痛、脱力感、吐き気の自
 覚と、顔色不良、頻脈、血圧低
 下、発熱などが見られます。熱
 けいれんの対処法に加え、足を
 高くして横になり、風を送って
 体を冷やし、より積極的に水分

を補給。症状が強いときは医
 療機関を受診してください。
 熱射病 さらに症状が進むと
 高熱となり、意識障害が加わ
 って命の危険もでてきます。
 対処は自分では難しいので、
 周囲の人がすみやかに熱疲労
 と同じ処置を行うとともに、
 救急車を呼びましょう。意識
 障害で誤飲の危険があるとき
 は、水分を飲ませてはいけま
 せん。
 高温の所に長時間いるとき
 は、こまめに水分を摂り、涼
 しいところで休みましょう。
 (前橋市医師会 土井 一郎)